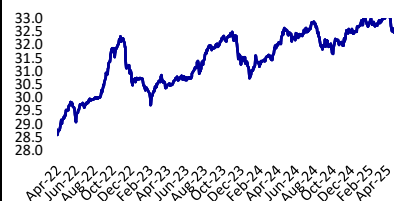
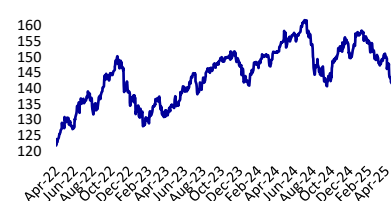


市場動向

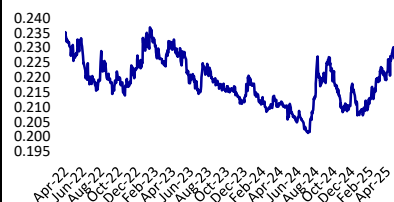
■USD/TWD



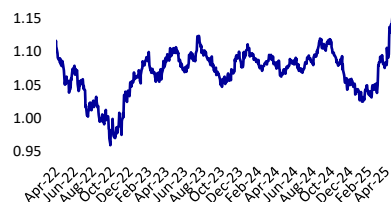
■USD/JPY



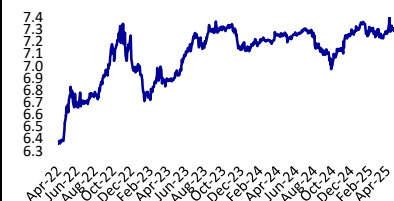
■JPY/TWD



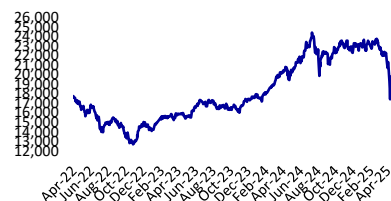
■EUR/USD



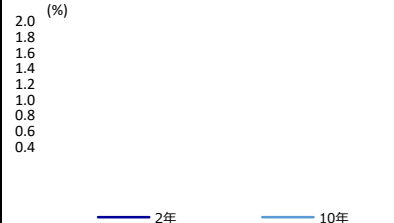
■USD/CNH



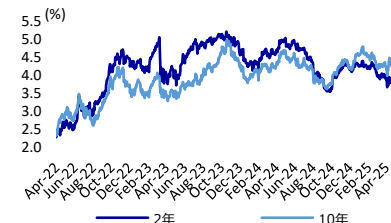
■台湾加権指数



■台湾国債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは下落。週初4/28は32.510でオープン後、海外市場におけるドル高を受け、一時32.540まで買われたものの、輸出企業によるドル売りに抑えられ、32.450近辺まで反落。4/29は、人民元をはじめとしたアジア通貨が上昇したことを受け、台湾ドルも買い優勢の展開。その後も輸出企業のドル売りが入り、一時32.20近辺まで反落。4/30、先日のドル安を受け、輸出企業による月末のドル売りが加速したことに加え、国内投資家の外貨売りも加わり、売りが売りを呼ぶ形で、一時31.942近辺まで急落。5/1は、台湾休場。5/2は、輸出企業に加え、国内投資家も手持ちのドルを減らす方向に動いたほか、外資も台湾株を買い増したことを受け、ドルの売りが売りを呼ぶ展開が加速し、一時30.770まで急落。最終的には前週比4.50%ドル安台湾ドル高の31.064で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は523.6億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は上昇。週初4/28は143.50でオープン後、米中貿易摩擦緩和の期待で、円は一時143円台後半まで売られたが、米債利回りの低下を受け、ドルは142円近辺まで下落。4/29は、米債利回りの低下に伴い、ドルはやや上値重い展開となったものの、米国は自動車関税について、鉄鋼やアルミニウム関税との重複解消など、一部負担軽減に動いていることを受け、リスク許容度の改善で円が売られ、ドルは142円台半ばまで上昇。4/30は、発表された米第1四半期GDPが予想を下回ったことや、米3月JTPCE価格指数(前月比)が予想より減速した事を受け、ドル売りが優勢となり、142.49まで下落。5/1は、ハト派的な日銀金融政策会合を受け、144円台半ばまで円安が進んだ後、米ISM製造業指数の上振れを受けた米金利上昇とともに145円台半ばまで上昇し、4月10日以来の水準を回復。5/2は、ドルは一時143円台後半まで売られたものの。欧米時間では、4月の米雇用統計が予想を上回る伸びとなったため、ドルは再び145円近辺まで買い戻された。最終的には前週比0.85%ドル高円安の144.95で先週の取引を終了。

今週の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：29.300-30.300

今週のドル/台湾ドルは下落を見込む。台湾ドルの上昇幅が他のアジア通貨より低い中、上値の重い推移となるだろう。

■USD/JPY 予想レンジ：141.50-146.50

今週のドル/円は揉み合い推移を見込む。FOMCなど重要イベントを控える中、レンジ推移が続くようだ。

今週の予定

5/5 (MON)	東京・香港市場休場、米4月ISM非製造業景況指数
5/6 (TUE)	東京市場休場、米3月貿易収支
5/7 (WED)	米FOMC金融政策決定会合、台湾4月CPI
5/8 (THU)	日銀3月金融政策決定会合議事要旨、台湾4月貿易収支
5/9 (FRI)	中国4月貿易収支

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。